

おい自然園

ナラ枯れ

No.138

神奈川県下では、昨2020年から急激にコナラ・クヌギを中心に、どんぐりのなる木がナラ枯れの被害に遭っています。

ナラ枯れの原因は、カシノナガキクイムシです。この虫は木に小さな穴を開け、交尾・産卵をしますが、雌は背中に背負っている酵母とナラ菌を穴中で増殖させ、幼虫や自分たちの餌にします。穴を開けられた木は、抑制物質を出して防ごうとしますが、それが水分や養分を送る管を詰まらせてしまい、結果枯死してしまいます。

特に樹径が太い老木が枯死しやすいと言われ、更新しなくなった雑木林の管理にも課題があります。

2021年夏にも多くのナラ枯れ被害が出て、どんぐりができていません。どんぐりを餌や産卵場所としている生きものたちが、これからどうなっていくか心配です。

おい自然園長 一寸木筆



▲カシノナガキクイムシ (上から雄・雌・幼虫)



▲ナラ枯れの状況 (篠窪地区)

【おい自然園 HP】



や動物や植物の観察を自然園長が案内します。
▲井町の動物園、大井町の自然園、大井町の自然園、大井町の自然園

【自然NOWへの投稿】



自然園長が身近な自然の情報をお待ちしています。
▲町内の身近な自然の情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で